

2015年9月24日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報45号

ベロ・オリゾンテ市内で短時間誘拐事件発生（邦人被害）

21日（月）、当館が管轄するミナス・ジェライス州ベロオリゾンテ市内で邦人が被害者となる短時間誘拐（電撃誘拐）が発生しました。

1. 発生日時

2015年9月21日（月）午後5時10分頃

2. ベロオリゾンテ市ベタニア（Betania）地区テレサ・クリスティナ（Teleza Cristina）通り

3. 被害品

車両1台、その他（現金、携帯電話等）

4. 被害の状況

- （1）邦人が車両（妻同乗）にてコンフィンス空港近くの自宅に向かう途中、上記通りで信号待ちのため停車したところ、突然現れた二人組（けん銃を所持）に後部座席ドアを開けるよう要求された。
- （2）混乱した被害者が運転席側の窓を開けたところ、すぐにドアロックを解除され、後部座席への侵入を許した。
- （3）被害者は犯人に脅されながら約20分間運転した後、ベロオリゾンテ市の中心地に近い環状線（Anel Rodviario）側道付近で降車するよう指示され、妻と一緒に降車。犯人2名はそのまま車両を強奪して走り去った。
- （4）解放されたのは午後5時30分頃で、被害者は直ぐに近くの店舗から警察に通報した（文民警察署に被害届を提出）。

【当館から】

- ミナス・ジェライス州軍警察本部によれば、短時間誘拐が発生した現場周辺は、本年に入ってから特に治安が悪化しており、同様の誘拐事件が頻発しているとのこと。また、本年中、ベロオリゾンテ市内だけで1週間に約600件～800件の強盗事件が発生しており、暴力犯罪に対する警戒が必要です。
- 本年中、比較的安全と言われるリオ市の南部地区（ゾナ・スール）においても短時間誘拐事件が連続発生（当館治安情報13号参照）しており、引き続き警戒が必要です。